県立高校入試問題〔国語〕を活用した授業

平成30年度福岡県立高等学校
入学者選抜学力検査問題

五

○　伝えたい事柄や意見が相手に伝わるように、説明や具体例を加えたり描写を工夫したりして書くことができるかどうかをみる。
○　言葉の特徴やきまり、比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について理解しているかどうかをみる。

F中学校では、全校生徒で取り組んでいる生徒会活動のよさを伝える言葉として、今年度のF中学校生徒会キャッチフレーズを募集し、決めることになった。次は、募集にあたり配付された【資料】である。これを読んで、後の問に答えよ。

【資料】（表）

F中学校生徒会キャッチフレーズを考えよう！

私が考えるF中学校生徒会キャッチフレーズ
※Ⓐにはあなたが考えたキャッチフレーズを書きましょう。

A

■ 1と2を読んで，F中学校生徒会キャッチフレーズを考えましょう。

1　特色ある生徒会活動

○　朝のあいさつ運動
地域の方が始めた声かけ運動に，生徒会が合流した。毎朝，地域の方と一緒にあいさつをしている。

○　全校合唱
昭和５０年に生徒会役員が中心となり始まった。地域の方を招いての合唱コンクールに向けて，１０，１１月に，帰りの会後，練習している。

○　花いっぱい運動
生徒の呼びかけで始まった。季節ごとに地域の方と，学校の周りに花を植えている。

【資料】（裏）

2　F中学校のよさについてインタビューした内容

質問「F中学校のよいところはどこだと思いますか。」

地域の方：笑顔で元気にあいさつをする生徒が多いところですね。毎朝，あいさつをするときに，皆さんはいつも私たちにあたたかく接してくれるので，参加するのが楽しみです。

卒業生：全校で歌う伝統がずっと続いていることです。よりいっそう一体感を感じられるような合唱を目指して，学校が一つになることを期待しています。

校長先生：地域の方と花を植えるときなど，協力し合って取り組むことができるところです。みんなで声をかけ合って作業する姿がとてもすがすがしいです。

問　キャッチフレーズを決めるにあたり、各学級で生徒一人一人が自分の考えたキャッチフレーズについて発表する。あなたならどのようなことを発表するか。後の条件1から条件4に従い、解答欄の最初と最後に示している文につながるように、発表原稿を書け。

条件1　文章は、二段落構成とすること。ただし、解答欄の最初と最後に示している文は、段落には含まない。

条件2　【資料】を参考にして考えたキャッチフレーズを解答用紙のⒶに書いた上で、第一段落には、そのキャッチフレーズにした理由を、【資料】の中の1と2のそれぞれから必要とする情報を取り上げ、それらを結び付けて書くこと。

条件3　第二段落には、あなたの考えたキャッチフレーズの表現のよさについて書くこと。

条件4　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。

授業場面で（伝えたい事柄や意見が相手に伝わるように説明や描写を工夫して書く授業）

導入

皆さんは、「キャッチフレーズ」という言葉を聞いたことがありますか。例えば、今夏の高校野球のキャッチフレーズは、「本気の夏、100回目」です。このキャッチフレーズが伝えていることと表現の工夫は何ですか。

このキャッチフレーズが伝えていることは、「100回目」という記念すべき大会で、選手が真剣に本気で挑む姿です。「100回目」という短い言葉にインパクトがあり、「本気の夏、100回目」という二つの言葉が体言止めで表現されているので、歯切れがよく引き締まった印象になっています。

キャッチフレーズを創るときに大切なことは何ですか。

キャッチフレーズは対象のよさを伝えることが大切なので短い言葉を使ったり、学習した表現技法を使って表現を工夫したりすることだと思います。

では、資料を読んで、F中学校生徒会活動のよさを伝えるキャッチフレーズとその理由、キャッチフレーズの表現のよさを、条件に従って考えてみましょう。

Point　キャッチフレーズとは、対象のよさを伝える短い言葉であることを、具体例を挙げながら理解させましょう。また、今日の学習のゴールとして、発表原稿に書く内容と方法（条件）について確認をしましょう。

展開

まず、資料からF中学校生徒会活動のよさを読み取りましょう。

三つの生徒会活動のよさは学校と地域が一体となっていることです。インタビューから笑顔、元気、伝統を守っているところ、協力し合えるところが印象に残りました。

では、キャッチフレーズを考え、理由、表現のよさを表に整理しましょう。Aさんはどんなキャッチフレーズにしましたか。

「F中・地域　つながる心　広がる笑顔」にしました。生徒会活動は全て、F中と地域が一体となって行っているからです。また、地域と一緒に継続して活動しているので、心がつながっていると考えました。さらに、挨拶から笑顔が広がっていると考えました。

Aさんは資料を根拠に理由を述べていますね。では、表現のよさは何ですか。

表現のよさは、「F中・地域」と短い言葉で表現していることと、「つながる心」、「広がる笑顔」と体言止めにして、七文字の対句にしているところです。リズムが良く、口ずさみやすいと思います。

Point　キャッチフレーズや理由は、資料の言葉や内容と関連付けていることと、用いた表現と表現技法の名称、（状況に応じて働きや効果も）を結び付けていることを全体交流を通して共有させましょう。

終末

条件に応じて発表原稿を書きましょう。書いたら自分で読み返し、その後、ペアで評価し合いましょう。

私は、「AGH　心は一つ　F中校区」です。なぜなら、F中は、挨拶（A）、合唱（G）、花いっぱい運動（H）の取組を通して、生徒と地域の心が一つになっているからです。また、卒業生から学校が一つになることを期待されており、花いっぱい運動も生徒と地域が協力して一つになっているからです。表現のよさは、アルファベット「AGH」とインパクトがあるものにしたことです。また、「心は一つ　F中校区」と倒置法で印象を強めました。

資料の特色ある生徒会活動を根拠にし、「心は一つ　F中校区」と倒置法の表現のよさを書くことができています。

Point　条件に応じて書いているかどうかを自分で読み返させるとともに、読み手からの評価等を踏まえて、自分の発表原稿のよい点や改善点を整理させましょう。

めあて

F中学校生徒会活動のよさを伝えるキャッチフレーズを考え、理由とキャッチフレーズの表現のよさを発表原稿にまとめよう。

キャッチフレーズ　対象のよさを伝える言葉
・覚えやすい　・リズムがある
・体言止め　・倒置法　・対句法
・比喩法　・五・七調　など

発表原稿
二段落構成
一段落　考えた理由
二段落　表現のよさ
十行以上、十二行以内

F中学校生徒会活動のよさ

	活動内容	よさ
挨拶	・毎朝、地域の方と一緒に活動	・笑顔、元気 ・あたたかい ・楽しみ
合唱	・伝統がある ・継続している ・地域の方を招待 ・練習をしている	・伝統、継続 ・よりいっそう一体感のある合唱 ・学校が一つになることを期待
花いっぱい	・地域の方と一緒に活動	・協力し合える ・声かけができる ・すがすがしい

	キャッチフレーズ	理由・根拠	表現のよさ
	F中・地域 つながる心 広がる笑顔	・地域の方と一緒に活動 ・継続 ・笑顔	・体言止め ・対句法（リズムがある）

発表原稿

なぜなら、F中学校の生徒会活動は、全て学校と地域が一体となって行っているからです。また、生徒会活動の中には、毎日実施していること、長年継続していることがありますが、どれも、学校と地域の心がつながっているからこそできることだと思うからです。さらに、あいさつ運動では、元気な笑顔がF中生のよいところと言われているからです。

表現のよさは、「つながる心」、「広がる笑顔」を体言止めで、七文字の対句表現にしたところです。リズムがよく、口ずさみやすいと思います。

まとめ

・資料を根拠に説得力のある理由を書くこと。
・用いた表現技法とその名称だけでなく、働きや効果も述べるとよい。